

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年3月17日 (2016.3.17)

【公開番号】特開2013-233459(P2013-233459A)
 【公開日】平成25年11月21日 (2013.11.21)
 【年通号数】公開・登録公報2013-063
 【出願番号】特願2013-175014(P2013-175014)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月1日 (2016.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

未だ開始されていない識別情報の可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

保留情報に基づいて、前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段と、

複数の表示部に停止させる識別情報の停止パターンを複数種類から決定する停止パターン決定手段と、

前記停止パターン決定手段の決定結果に基づいて、識別情報の可変表示を実行する可変表示実行手段と、

所定の条件が成立したことに基づいて、複数種類の状態のいずれかに制御する状態制御手段と、

前記有利状態に制御されるか否かを前記決定手段による決定前に判定する判定手段と、

前記判定手段による判定に基づいて、複数回の識別情報の可変表示に亘って予告演出を実行する予告演出実行手段と、

可変入賞装置を遊技媒体が進入しやすい状態に制御する可変入賞装置制御手段と、

前記可変入賞装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されること、または、前記有利状態に制御される可能性を報知する所定演出を実行する所定演出実行手段と、を備え、

前記停止パターン決定手段は、前記状態制御手段により制御されている状態に応じて異なる割合で前記停止パターンを決定し、

前記所定演出実行手段は、前記予告演出が実行されるときには、該予告演出が実行されないときに比べて、高い割合で前記所定演出を実行し、

前記停止パターン決定手段は、前記予告演出が実行されるときには、該予告演出が実行されないときに比べて、高い割合で特定の前記停止パターンに決定する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段と、

前記決定手段の決定結果に基づいて、可変表示手段における識別情報の可変表示パターンを決定する可変表示パターン決定手段と、

複数の表示部に停止させる識別情報の停止パターンを複数種類から決定する停止パターン決定手段と、

前記可変表示パターン決定手段の決定結果と前記停止パターン決定手段の決定結果とに基づいて、識別情報の可変表示を実行する可変表示実行手段と、

所定の条件が成立したことに基づいて、複数種類の状態のいずれかに制御する状態制御手段と、を備え、

前記可変表示パターン決定手段は、前記可変表示手段において識別情報の可変表示が開始されてから表示結果を導出表示する以前に仮停止表示させた後、識別情報の可変表示を再開する再可変表示を所定回実行することに対応した再可変表示パターンに決定可能であって、

前記決定手段の決定結果に基づいて、前記再可変表示パターンに基づく複数回の識別情報の可変表示に亘って予告演出を実行する予告演出実行手段と、

可変入賞装置を遊技媒体が進入しやすい状態に制御する可変入賞装置制御手段と、

前記可変入賞装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されること、または、前記有利状態に制御される可能性を報知する所定演出を実行する所定演出実行手段と、を備え、

前記停止パターン決定手段は、前記状態制御手段により制御されている状態に応じて異なる割合で前記停止パターンを決定し、

前記所定演出実行手段は、前記予告演出が実行されるときには、該予告演出が実行されないときに比べて、高い割合で前記所定演出を実行し、

前記停止パターン決定手段は、前記予告演出が実行されるときには、該予告演出が実行されないときに比べて、高い割合で特定の前記停止パターンに決定する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、未だ開始されていない識別情報の可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段（例えば第1、第2特図保留記憶部151A、151Bなど）と、保留情報に基づいて、前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段（例えばステップS240の処理を実行するCPU103など）と、複数の表示部（例えば飾り図柄表示エリア5L-1、5L-2、5L-3、5C-1、5C-2、5C-3、5R-1、5R-2、5R-3）に停止させる識別情報の停止パターンを複数種類から決定する停止パターン決定手段（例えばステップS524、S525、S527、S528、S603の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記停止パターン決定手段の決定結果に基づいて、識別情報の可変表示を実行する可変表示実行手段（例えばステップS172の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、所定の条件が成立したことに基づいて、複数種類の状態のいずれかに制御する状態制御手段（例えばステップS117において確変制御や時短制御を開始するための各種の設定を行うCPU103など）と、前記有利状態に制御されるか否かを前記決定手段による決定前に判定する判定手段（例えばステップS212の入賞時乱数値判定処理を実行するCPU103など）と、前記判定手段による判定に基づいて、複数回の識別情報の可変表示に亘って予告演出を実行する予告演出実行手段（例えばステップS710の処理に基づきステップS603の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、可

変入賞装置（例えば普通可変入賞球装置 6 B）を遊技媒体が進入しやすい状態に制御する可変入賞装置制御手段（例えばステップ S 1 6 において、普通図柄の可変表示結果が「普図当り」となったことに対応して、普通可変入賞球装置 6 B を構成する電動チューリップの可動翼片が傾動位置となる拡大開放制御を実行する CPU 1 0 3 など）と、前記可変入賞装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されること、または、前記有利状態に制御される可能性を報知する所定演出（例えば第 1 所定演出や第 2 所定演出など）を実行する所定演出実行手段（例えばステップ S 8 0 6 や S 8 1 2 の処理に基づきステップ S 1 7 2 の処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、を備え、前記停止パターン決定手段は、前記状態制御手段により制御されている状態に応じて異なる割合で前記停止パターンを決定し（例えばステップ S 5 2 5、S 5 2 8 の処理において確変状態であるか否かに応じて異なる割合で停止パターンを決定し）、前記所定演出実行手段は、前記予告演出が実行されるときには、該予告演出が実行されないときに比べて、高い割合で前記所定演出を実行し（例えばステップ S 8 0 4、S 8 1 0 において、連続演出が実行されているときに実行されていないときよりも高い割合で所定演出を実行すると決定する）、前記停止パターン決定手段は、前記予告演出が実行されるときには、該予告演出が実行されないときに比べて、高い割合で特定の前記停止パターンに決定する（例えば、ステップ S 6 0 3 の処理において停止図柄予告を実行する場合には、チャンス目 A またはチャンス目 B を構成する停止パターンに決定する）ことを特徴とする。

このような構成によれば、所定演出が実行されていない期間において予告演出が実行されることがあるので、所定演出が実行されていない期間の遊技の興趣が向上する。

また、予告演出実行時の遊技の興趣が向上する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

（2）上記目的を達成するため、本発明の他の遊技機は、

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段（例えばステップ S 2 4 0 の処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、前記決定手段の決定結果に基づいて、可変表示手段における識別情報の可変表示パターンを決定する可変表示パターン決定手段（例えばステップ S 1 1 1 の処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、複数の表示部（例えば飾り図柄表示エリア 5 L - 1、5 L - 2、5 L - 3、5 C - 1、5 C - 2、5 C - 3、5 R - 1、5 R - 2、5 R - 3）に停止させる識別情報の停止パターンを複数種類から決定する停止パターン決定手段（例えばステップ S 5 2 4、S 5 2 5、S 5 2 7、S 5 2 8、S 6 0 3 の処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、前記可変表示パターン決定手段の決定結果と前記停止パターン決定手段の決定結果とに基づいて、識別情報の可変表示を実行する可変表示実行手段（例えばステップ S 1 7 2 の処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、所定の条件が成立したことに基づいて、複数種類の状態のいずれかに制御する状態制御手段（例えばステップ S 1 1 7 において確変制御や時短制御を開始するための各種の設定を行う CPU 1 0 3 など）と、を備え、前記可変表示パターン決定手段は、前記可変表示手段において識別情報の可変表示が開始されてから表示結果を導出表示する以前に仮停止表示させた後、識別情報の可変表示を再開する再可変表示を所定回実行することに対応した再可変表示パターン（例えば、図 5 0 に示す変動パターン P A 3 - 1、P A 4 - 1 ~ P A 4 - 4、P B 3 - 1 ~ P B 3 - 4）に決定可能であって、前記決定手段の決定結果に基づいて、前記再可変表示パターンに基づく複数回の識別情報の可変表示に亘って予告演出を実行する予告演出実行手段（例えばステップ S 6 1 2 の処理に基づきステップ S 1 7 2 の処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、可変入賞装置（例えば普通可変入賞球装置 6 B）を遊

技媒体が進入しやすい状態に制御する可変入賞装置制御手段（例えばステップS 1 6において、普通図柄の可変表示結果が「普図当り」となったことに対応して、普通可変入賞球装置6 Bを構成する電動チューリップの可動翼片が傾動位置となる拡大開放制御を実行するCPU 1 0 3など）と、前記可変入賞装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されること、または、前記有利状態に制御される可能性を報知する所定演出（例えば第1所定演出や第2所定演出など）を実行する所定演出実行手段（例えばステップS 8 0 6やS 8 1 2の処理に基づきステップS 1 7 2の処理を実行する演出制御用CPU 1 2 0など）と、を備え、前記停止パターン決定手段は、前記状態制御手段により制御されている状態に応じて異なる割合で前記停止パターンを決定し（例えばステップS 5 2 5、S 5 2 8の処理において確変状態であるか否かに応じて異なる割合で停止パターンを決定し）、前記所定演出実行手段は、前記予告演出が実行されるときには、該予告演出が実行されないときに比べて、高い割合で前記所定演出を実行し（例えばステップS 8 0 4、S 8 1 0において、連続演出が実行されているときに実行されていないときよりも高い割合で所定演出を実行すると決定する）、前記停止パターン決定手段は、前記予告演出が実行されるときには、該予告演出が実行されないときに比べて、高い割合で特定の前記停止パターンに決定する（例えば、ステップS 6 0 3の処理において停止図柄予告を実行する場合には、チャンス目Aまたはチャンス目Bを構成する停止パターンに決定する）ことを特徴とする。

このような構成によれば、所定演出が実行されていない期間において予告演出が実行されることがあるので、所定演出が実行されていない期間の遊技の興趣が向上する。

また、予告演出実行時の遊技の興趣が向上する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】